

今秋の町長選への決意のほどは

町長 再度かじ取り役を担わせてほしい



菅原隆男議員

交通網整備の方向性は

問

新荒砥橋の着工、国道287号線の地滑り災害など交通網の整備の重要性を実感しているが今後の方向性は。

町長

高速道路や国道などと、町道が有機的に結合することによって、産業振興など地域間交流の促進がはかられるもの期待している。

西廻り高規格道路の整備と、国道348号線から高速道路に接続できるように、山形市西

公園付近にインターチェンジの設置を要望している。

町の景況はどうか

問

若者定住に向けて雇用対策が重要であるが、町の景況はどうか。

町長

総じて町内の事業所では向上きつつあるものの、まだまだ厳しい経済環境であると認識している。雇用、産業の充実は、まちづくりの根幹であり、さまざまな施策を講じていきたい。

TPP協定に対する町の対応は

問

TPPは今後、批准に向けた活発な議論がされると思われるが、これらの対応は。

町長

国・県の施策に対して、農家の方々が取り組める体制づくりを整えていきたい。

複合施設の今後は

問

将来を見据えて町民の誇れる施設となるよう進むべきと思うが所見は。

町長

町民会議、出前講座などで説明してきた。皆さまの要望などにすべて応えることは難しいと思われるが、ご意見を大切に、課題を整理して基本設計、事業着手に最終調整している。

町長選へ意志表明

問

町長は本年10月に任期を迎える。町民の負託にこたえる責務があると思うが決意のほどはどうか。

町長

諸課題を解決するためには、改めて皆さま方のご信任をたまり、再びかじ取り役を担わせていただきたいと考えている。



共創のまちづくり（上空より）